

令和元年度(2019年度)

管理事業名	花とみどりの情報センター事業			総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 3 みどりの保全と創出
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費 (目) 8 花とみどりの情報センター費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室		
予算大事業名	花とみどりの情報センター事業				
事業の目的と概要		上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名			
<p>【目的】 花とみどりに関する情報の普及を図るとともに、花とみどりにふれあう市民相互の交流の場を提供し、もって緑化意識の高揚に資することを目的に、花とみどりの情報センターを設置し、指定管理者制度による施設の管理運営を行っています。</p> <p>【概要】 花とみどりの情報センター管理事業(江坂花とみどりの情報センター及び千里花とみどりの情報センターの2館の施設管理運営に係る経費) 千里ニュータウンプラザ施設管理事業(千里ニュータウンプラザ内に設置している千里花とみどりの情報センターの建設費や修繕費などの維持管理経費)</p>					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
緑化相談件数	件	1,139	929	847	花とみどりに係る相談件数(令和元年度目標 900件)
みどりのまちづくりシンポジウム等参加者数	人	147	130	97	みどりのまちづくりシンポジウム・セミナー(令和元年度目標 50人)
成果の説明	<p>各種展示会や出張を含めた講習会、緑化相談、花と緑のフェアの開催などに取り組んでいます。</p> <p>平成28年度(2016年度)から、千里花とみどりの情報センターでは、みどりに関する多様な主体との連携事業や調査研究活動により、調査・研究を通じた情報発信を行うみどりのまちづくり実践型シンクタンク化を進めており、平成29年度(2017年度)からみどりのまちづくりシンポジウム等を開催しています。</p>				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	63	47	76	28
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	15	19	11	△8
経常収入 小計(a)	78	66	86	20
経常費用				
給与関係費	11,056	11,070	11,725	655
物件費	39,755	40,662	41,353	690
維持補修費	18,373	12,325	760	△11,565
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	17,471	17,471	17,471	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	940	980	988	9
退職手当引当金繰入額	700	844	240	△605
支払利息	2,728	2,543	2,364	△179
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	91,022	85,896	74,901	△10,995
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△90,944	△85,830	△74,814	11,015
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△90,944	△85,830	△74,814	11,015
一般財源充当額	83,080	77,750	67,274	△10,476
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△7,864	△8,080	△7,540	540

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
物件費	指定管理委託料 32,932千円(502千円の増) 光熱水費 1,853千円(140千円の減)
維持補修費	江坂花とみどりの情報センターでの修繕業務 760千円(11,565千円の減)

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	78	66	86	20
行政サービス活動支出	73,849	68,587	58,051	△10,535
行政サービス活動収支差額	△73,771	△68,521	△57,965	10,556
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	80	-	△80
財務活動支出	9,309	9,309	9,309	-
財務活動収支差額	△9,309	△9,229	△9,309	△80
収支差額 合計	△83,080	△77,750	△67,274	10,476
一般財源充当額	83,080	77,750	67,274	△10,476
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	内容
	(行政サービス活動収入)会議室等使用料 76千円 講習会参加負担金 11千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人あたりのコスト	平成29年度	39,187人	2,323円	年間利用者数を基に算出しています。平成29、30年度は江坂花とみどりの情報センターの空調故障に伴う利用者数減少と維持補修費の増加が生じました。令和元年度は利用者数の回復と維持補修費減少により、単位当たりコストは減少しました。
	平成30年度	54,559人	1,574円	
	令和元年度	60,888人	1,230円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,288	10,306	17
未収金	-	-	-	地方債	-	9	9
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	980	988	9
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	9,309	9,309	-
有形固定資産	487,501	470,030	△17,471	固定負債	121,758	111,810	△9,948
土地	-	-	-	地方債	80	71	△9
建物・工作物	487,501	470,030	△17,471	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	9,971	9,341	△630
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	111,707	102,398	△9,309
固定資産	-	-	-	負債の部合計	132,046	122,116	△9,930
有形固定資産	-	-	-	純資産	355,455	347,914	△7,540
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
重要物品	-	-	-	出資金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	基金	-	-	-
出資金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	487,501	470,030	△17,471
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	487,501	470,030	△17,471
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

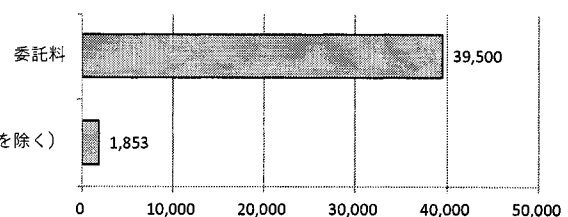
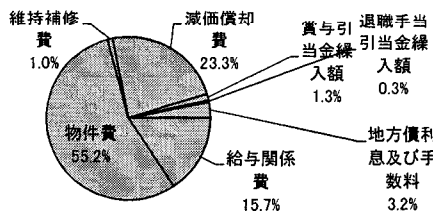
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数
	月平均	人			
	1.5	人			5
給与関係費等	12,911	千円			42
内、時間外勤務手当	916	千円			
					合計(千円) 12,953

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	花とみどりの情報センター 建物減価償却による 17,471千円の減

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	江坂花とみどりの情報センターほか
取得年月日	平成8年4月1日
建物・工作物の取得価額	873,541 千円
建物・工作物の減価償却累計額	403,511 千円
利用料金収入	76 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
施設維持補修費比率		2.1	1.4	0.1	△ 1.3
施設老朽化比率		42.2	44.2	46.2	2.0
受益者負担比率		0.1	0.1	0.1	0.0
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.9	99.8	99.9	0.1
経常費用対公共資産比率		10.4	9.8	8.3	△ 1.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、物件費41,353千円(55.2%)、減価償却費17,471千円(23.3%)、給与関係費11,725千円(15.7%)となっています。物件費の内訳としましては、32,932千円が指定管理委託料、1,853千円が光熱水費、5,398千円が千里花とみどりの情報センターの維持管理費です。減価償却により資産(建物)が減少しています。施設老朽化比率は46.2%で、市保有施設全体の老朽化比率57.0%と比較すると、10.8ポイント低くなっています。経常収入の主なものにつきましては、会議室等使用料76千円となっています。99.9%が税金などの一般財源で賄われている事業です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

江坂花とみどりの情報センターは平成8年(1996年)4月1日に、千里花とみどりの情報センターは平成24年(2012年)9月3日にそれぞれ開館しました。本施設の設置目的を達成するため、市北部の南千里及び市南部の江坂の2箇所地域連携を図ってきましたが、平成28年度(2016年度)から、施設の管理運営方針を見直し、千里花とみどりの情報センターは、みどりの調査・研究情報を通じたみどりのまちづくり実践型シンクタンク施設として、また江坂花とみどりの情報センターは、これまでの機能を踏襲した園芸緑化情報を通じたみどりの普及啓発施設として、2館が機能的に連携して管理運営を行っています。緑化相談件数は年々減少傾向にある一方、市民参加・協働によるみどりのまちづくりの実践を支援する必要性も踏まえ、令和3年度(2021年度)から江坂花とみどりの情報センターを千里花とみどりの情報センターに統合し、1館による効果的・効率的な管理運営を図ります。